

# ネパールにおける猛禽類をはじめとした鳥類及び自然環境を保全していくための人材の育成

活動地域  ネパール



多くの猛禽が渡りで通過するヒマラヤの風景

## 課題

ネパールは850種以上の鳥類が記録される自然豊かな国だが、一方で開発が進み、人知れずクマタカなどの貴重な猛禽類の生息地が脅かされている。

## 目標

ネパール人が自立して調査・研究および啓発活動を行い、一般の人たちも巻き込んで鳥類の保護活動が進んでいく基盤が作られた状態にする。



## 今後の展望

ネパール人が自立して調査・研究および啓発活動を行っていきけるよう資金源としてエコツアーを定着させ、ネパール鳥学会主導で継続していきける体制を作る。そのためにエコツアーガイドの育成を引き続き行っていく予定。

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

## 活動内容と成果

- 猛禽類捕獲調査を3回実施。3羽の猛禽類を捕獲し計測方法とGPS装着方法を指導した。1羽GPS装着
- 渡り調査の実施と指導を1回行った
- 一般鳥類の捕獲調査を2回実施。2羽を捕獲し調査方法を指導した
- 試験的なエコツアーを1回実施。ツアー参加者5人を引率した
- 周辺住民にプロジェクトの説明会を1回実施。参加者46人
- リーフレットを120枚、ステッカーを210枚配布し、猛禽類の重要性を説明した
- 在ネパール日本国大使館に後援、関係機関との橋渡し、プロジェクトの啓発を依頼した



周辺住民を対象に実施した説明会の様子

説明会の参加人数 **46人**

猛禽類の重要性を示した冊子配布数 **120部**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **40%**

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

活動地域のネパールを訪問できる回数が年に2回しかなく、現地を訪問した際にやらなければならないタスクが多かった。

### ■ 工夫した点

訪問回数が少ない分ネパール鳥学会会員との連絡を密に行い意思の疎通をはかった。現地では役割分担を決め効率的に作業を行った。

〒166-0012  
東京都杉並区和田3-54-5  
第10田中ビル3階  
電話：03-5378-5691  
E-mail：research@jspb.org  
HP：http://www.jspb.org/

